

[003]臺灣演習林植物調査

初島, 住彦
九州帝国大学助手

<https://doi.org/10.15017/14202>

出版情報：九州帝国大学農学部演習林報告. 3, pp.1-257, 1933-06. 九州大学農学部附属演習林
バージョン：
権利関係：

にして短かく實は稍々薄く莢の數多く臺灣の固有種なり。

ナンバンアハブキ

Meliosma squamulata Hance

演習林内各所の森林に前者と共に極めて多き亞喬木にして、奄美大島以南臺灣を経て香港に分布す。

タイフンヤマモガシ

Helicia formosana Hemsley

臺灣特産の亞喬木にして谷間の森林に多く、葉はヤマモガシに比し遙かに大形なり。

(六) 演習林内産珍奇植物

ムカシリウビンタイ

Archangiopteris Somai Hayata

本植物は本島の固有種にして古代型を有する羊齒類の一種なり。明治四十三年十二月故臺灣總督府師範學校教諭相馬禎三郎氏が臺北廳新店支廳蕃地ラハウ社に於て發見せるものにして、嘗て佛領印度支那に於て發見せる *Archangiopteris Henryi* と同屬品なることを以て有名なり。而して本種の産地としては前記ラハウ社及び同地附近の外臺中州新高郡魚地庄、臺東廳大武支廳チョコクライ社に見るの外其の他に産地あるを聞かず、本林内殊に第二、第三林班に多く之を見るは最も珍なりとし又誇とするに足らむ。

ジャカウシダ

Diplazium odoratissimum Hayata

臺灣の固有種にして僅かに北部ウライ社宜蘭尖山湖及羅東小林に之を産するを知るのみにして他地に之を發見せず、本種は植物學上珍奇なるのみならず乾燥せる植物は猛烈なる香氣を發散し、和名の據つて來る處を想起せしむるに足る。適當なる方法にて香料を製し得ば有用なる羊齒ならん。

タイワンシヤクジャウバナ

Burmannia Takeoi Hayata

臺灣の固有種にして大正三年伊藤武夫氏によりてウライ社に於て発見せられし以來他所に於て発見せるを聞かず、然るに演習林内第十一林班海拔八百米附近の森林内に相等多數發生せるは珍とするに足る。

シマエビネ

Calanthe Fauriei Schl.

屋久島の固有種として知られたる本種は昭和四年一月新竹州竹東郡蕃地井上に於て之を発見せられ今又本林内第七林班にて採集せり。未だ他地に於て之を見ず分布上極めて珍とするに足る。

サビバカンザブラウノキ (新稱)

Bobua ferruginifolia (Kanehira) Hatusima

本林内及新店附近にのみに産する特産品にして分布極めて狭く局限さるる珍種なりとす。一見アラバノキに酷似するも葉及花序は銹色の毛茸を密生せるを以て一見區別し得べし。

ウスバフウトウカヅラ (新稱)

Piper sp. nov.?

演習林事務所附近の森林内に生ずる蔓性植物にしてフウトウカヅラに似るも葉質遙かに薄く葉の裏面の葉脈上に毛茸を有する本邦未發表の植物なると思推する。

シマコバノカマツカ (新稱)

Pourthiaea kankoensis Hatusima

演習林海拔八百米附近の山地に自生する高さ二、三米の灌木にしてカマツカに似るも葉は更に小さく且密生するを以て容易に區別し得べし。

ホウライセンリヤウ (新稱)

Sarcandra grabra form. *laterico-aurantiaca* Hatusima

從來センリヤウと同一視されてゐたるも實は橙色を呈しセンリヤウとキミノセンリヤウの中間なり。林内各地に生じ普通なり。

シマアヲネカヅラ

Sabia Swinhoei Hemsley

スキンホエーが嘗て淡水にて採集せし以來所在を知る由も無かりしが本林内低地に相當多數發見することを得たり。

ミヤヲサウ 八角蓮

Podophyllum pleianthum Hance

本種は一八八三年 *Podophyllum* 屬の第三種としてハンス博士により發表されたる珍種にして、和名は川上瀧彌氏が時の臺灣總督府の殖産局長宮尾舜治氏の爲に名づけたるものなり。本林内にては第十一林班の海拔約九百米の森林内に生じ稀なり。

マツムラサウ

Titanotrichum Oldhami Solereder

本植物は臺灣固有の屬に屬する學術上興味あるものにして、ゾルレーダは一九〇九年九月發行の獨逸植物學會會報に發表せり。然るに英人ヘムズレーは同年十月キユウ報告に *Matsumuria* なる新屬を發表せるも二ヶ月遅れたため前者にブライオリチーあるは遺憾とす。

(七) 演習林産植物數の統計

a. 系統分類上の統計

今演習林産植物の統計を示せば次の如し。